



平成26年10月26日発行(年4回発行) 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表) ホームページ: http://www.tfd.metro.tokyo.jp

主な掲載内容 < 2・3面 > 備えて安心!STOP住宅火災! 119番はあわてず・はっきり・正確に!!
< 4面 > 住宅で起きる一酸化炭素中毒事故に注意!! 防火標語・救急標語大募集! 救急相談センターの看護師募集
Miniコラム プレゼントコーナー

住宅火災による死者ゼロへ!

ひとりひとりが、防火防災に対する意識や行動力を高め、火災の発生を防ぎましょう!

今年、高齢者の死者が全体の9割超え!!



平成26年1月から8月までの東京消防庁管内における住宅火災による死者のうち65歳以上の高齢者の割合が9割以上であり、例年に比べ急激に高くなっています。

高齢者は、火災に気づくのが遅れたり、避難に時間がかかることが多く、被害が大きくなる可能性があります。ご家族や地域を含めた火災に対する備えで、安心・安全な生活へとつなげることが大切です。



平成26年秋の火災予防運動ポスター
ポスターにご登場いただいた俳優の千葉雄大さんからのコメント
防火衣を着て撮影を行い、身が引き締まるとともに、普段から火災予防の意識を持っていくと強く思いました。みなさんも、ご自身や大切な人の命を守るために、身の周りの火災予防について考えてみてください。

高齢者が死亡した住宅火災出火原因ワースト3

※東京消防庁管内平成21年から平成25年の5年間

1位 たばこ

高齢者の割合 **60%** 死者115人
…うち高齢者69人

火災事例

一人暮らしの居住者が飲酒した後、ベッドの上で喫煙し、その際にたばこの火種が布団に落下したことに気付かず就寝してしまい、その後出火しました。
住宅用火災警報器は設置されていませんでした。



【ベッドの布団が燃えた様子】

出火防止ポイント

- 寝たばこは、絶対にしない!
- 灰皿は水を入れて使う!
- 就寝前には、吸い殻の確認をする!



2位 ストープ

高齢者の割合 **77%** 死者48人
…うち高齢者37人

火災事例

洗濯物を室内で乾かすために、石油ストーブ上方のカーテンレールに洗濯ハンガーを吊るしていました。
その後洗濯ハンガーの洗濯物が、石油ストーブに落下し出火しました。



【ストーブの上の洗濯物が燃えた様子】

出火防止ポイント

- ストープの近くに燃えやすい物を置かない!
- 外出・就寝前は必ず火を消す!
- ストープの上には洗濯物を干さない!

3位 こんろ

高齢者の割合 **70%** 死者37人
…うち高齢者26人

火災事例

油を入れたフライパンをガスコンロにかけ、点火したままその場を離れたため出火しました。
火災に気がつき炎が立ち上がっているフライパンに水をかけたところ、炎が急激に拡大しました。



【ガスコンロ周辺の様子】

出火防止ポイント

- 点火・消火を必ず確かめる!
- 袖口や体が火に触れないように注意する!
- その場を離れるときは、必ず火を消す!